

令和 8 年 1 月 21 日

【プレスリリース】報道関係者各位

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター(漁師.jp)

通算 110 回！水産庁×全国の漁業者が「地域」を越えて大集結。

漁業就業支援フェア 2026、官民・地域間連携を強化する初のネットワーク会議を 2 月に開催

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター(漁師.jp)は、2026 年 2 月に大阪と東京で「漁業就業支援フェア 2026 冬」を開催いたします。2002 年の開催以来、水産庁の支援のもと継続してきた本フェアは、今回で通算 110 回の節目を迎えます。

この記念すべき回に合わせ、フェア前日には水産庁、行政、そして全国各地の漁業関係者が一堂に会する「漁業担い手対策ネットワーク会議」を初開催いたします。

1. 初開催：漁業担い手対策ネットワーク会議～地域と立場の垣根を越えた連携～

担い手不足という全国共通の課題に対し、個々の地域で取り組むだけでなく、「地域を越えた漁業者間の連携」によって解決策を探るのが本会議の大きな狙いです。大阪東京各会場に出展する漁師や漁業関係者、水産庁や行政の担当者などが、「現場のリアル」な意見をぶつけ合い、担い手の円滑な受け入れに向けた組織体制づくりを学び、官民の連携に加え、これまで接点が少なかつた地域を越えた漁業者同士が「横の連携(ネットワーク)」を構築し、現場の知恵を共有し合う場です。

【会議の概要】

参加漁業者による事例発表と参加者の意見交換を行います。

◎大阪会場発表例：共幸水産(島根県・まき網漁業)、鷺北漁業部(富山県・定置網漁業)

2008 年からフェアに出展。これまで複数の未経験者を受入れた苦労話も共有いただきます。

◎東京会場発表例：舘浦漁業協同組合(長崎県・定置網漁業)、大分県漁業協同組合佐賀関支店
(大分県・一本釣り漁業、金城水産(石川県・定置網漁業))

フェア出身の複数の漁師たちが主体となり活躍している事例。特に関アジ関サバで有名な佐賀関の一本釣り漁師の話題は高齢化した漁村における興味深い内容です。

【開催日程】

・ 大阪：2026 年 2 月 6 日(金) 15:30～17:30(AP 大阪淀屋橋)

・ 東京：2026 年 2 月 10 日(火) 15:30～17:30(ビジョンセンターグランデ東京浜松町)

※両会場、18:00より会費制の交流会を開催

全国の漁業関係者が交流を図り、翌日行われるフェアへの意気込みを語り連携を深めます。

※ネットワーク会議及び交流会は関係者のみで行います。

2. 漁業就業支援フェア 2026 冬 の概要

新人漁師を募集する北海道から沖縄まで、沿岸から沖合遠洋までの多彩な漁業種(まき網、定置網、一本釣りなど)の漁協・漁業団体から直接話を聞くことができる、国内唯一の全国規模の漁師就職相談会です。各会場約 60 団体出展予定。

会場内には、初心者向けの「まるごと相談ブース」や、各地域の情報が集まる「資料コーナー」を設置し、自分に合った漁師生活をイメージできる場を提供します。

ご来場者は事前登録不要、参加費無料です。お気軽にご参加ください。

【大阪会場】

- ・日時:2026年2月7日(土) 12:30~16:00
- ・会場:OMMビル 2階Aホール

【東京会場】

- ・日時:2026年2月11日(水祝) 12:30~16:00
- ・会場:東京都立産業貿易センター台東館 5階

3. フェア開催 110 回を支えた「連携」と「想い」

本フェアは 2002 年に福岡での初開催以来、「都会の若者を漁師に！」というスローガンを掲げ、20 年以上にわたり漁業の担い手確保の生命線を担ってきました。現在では、中学生から大学生、転職希望者まで幅広い層の方が来場し、多くのマッチング(内定)を生み出す貴重な場となっています。今回は前日関係者が集うネットワーク会議を通じて、官と民、そして地域と地域がより強固に繋がることで、漁業を志す若者を温かく迎え入れる日本全体の受け入れ体制(ネットワーク)をさらに強化してまいります。



主催:一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター(漁師.jp)

後援:水産庁

【お問い合わせ】一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター(漁師.jp)

※取材いただける場合は事前にご連絡をお願いいたします。ネットワーク会議は関係者のみで開催しますが、取材は可能です。

電話:03-6450-4666 080-8159-5331

メール:info@ryoushi.jp URL:<https://ryoushi.jp/fair/>